

日本環境変異原学会 (JEMS)、日本毒性学会 (JSOT) 共催

QSAR および曝露許容値検討ワークショップ 開催案内

開催概要

主題：QSAR 評価のエキスパートジャッジメントと個別化学物質曝露許容値の設定

開催日時：2018年10月5日（金）10:00-17:00

場所：国立がん研究センター 新研究棟 1F 大会議室

(<https://www.ncc.go.jp/jp/about/access/tsukiji.html>)

参加費：日本環境変異原学会員および日本毒性学会員 5,000 円、非会員 10,000 円

参加申込：2018年8月24日（金）～9月7日（金）、

8月中旬に申込方法の詳細を JEMS ホームページ (<http://www.j-ems.org>) に掲載予定です
世話人代表：三島雅之 (JEMS 理事)、広瀬明彦 (JSOT 理事)

プログラム

10:00-10:05 開会あいさつ JEMS 会長 本間正充

10:05-11:40 化学物質のヒト曝露許容値設定

(座長：LSI メディエンス濱田、国立衛研 広瀬明彦)

10:05-10:45 許容値設定総論

国立医薬品食品衛生研究所 広瀬明彦

10:45-11:15 許容値設定のためのデータベースサーチ

国立医薬品食品衛生研究所 松本真理子

11:15-11:40 遺伝毒性発がん物質とそれ以外の個別許容値設定の実例

中外製薬 三島雅之

11:40-12:40 構造類似物質の情報から毒性を予測する試み

(座長：エーザイ 羽倉昌志、中外製薬 三島雅之)

11:40 – 12:10 OECD Tool Box 紹介

化学物質評価研究機構 赤堀有美

12:10 – 12:40 類似構造の検索

日本たばこ産業 美濃洋祐

12:40 – 14:00 昼休憩

14:00–14:50 類似構造の化学的な捉え方

理化学研究所 大田雅照

14:50–17:00 QSAR エキスパートジャッジメント

(座長：武田薬品 橋本清弘、国立衛研 本間正充)

14:50 – 16:30 モデル化合物 QSAR ケーススタディー (演者公募 5名程度)

昨年の ICH M7 関連ワークショップと同様、QSAR 評価の難度が高い化合物を世話人会で複数選択し、構造を7月中に JEMS HP (<http://www.j-ems.org>) に公開して、それらの化合物に関するエキスパートジャッジメントを公募します。極めて慎重な判断から、積極的過ぎるチャレンジまで、幅広いご意見を期待します。その中から、いくつかの事例を紹介していただき、どのような考え方があり得るか、どの程度の説明が必要かを、科学的な見地から議論していきます。応募の詳細は化合物の構造開示時にお知らせします。

16:30 – 17:00 Ames 陽性を見逃さないためのエキスパートジャッジ

医薬品医療機器総合機構 福地淳一

17:00 閉会